

2020年度 特別研究推進費実績報告書

2021年 4月 30日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 法学部政策科学科・教授

(氏名) 田村 慶子

2020年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、
次のとおり報告します。

研究課題名	台湾現代史のなかの日本人 —台湾に長期滞在する日本人への聞き取り調査から— Japanese in the Modern History of Taiwan —Voices of long-term Japanese residents in Taiwan—					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>日本・台湾関係の研究は、日本の植民地時代（1895年～1945年）の歴史、植民地時代の台湾社会の政治・経済的変容、戦後の政治・外交関係、台湾が急激な経済発展を遂げる1970年代後半から90年代の台湾経済と日系企業の役割、数は少ないものの、台湾における日本のポップカルチャーの受容に関する研究、がほとんどである。</p> <p>本研究は、ほとんど明らかにされていない日本と台湾の「草の根の社会史」「草の根の交流史」として、これまでの日本と台湾の歴史や経済的な関係とは異なる交流史の新たな側面を明らかにする研究として、日本においても台湾においても、きわめて大きな意義を持つと考えられる。</p> <p>しかしながら、2020年度はコロナ禍のために海外調査と、台湾での長期滞在中を終えて帰国した日本人を対象とする国内での聞き取り調査は全く実施できず、資料収集も十分に行えなかった。そのため、文献資料の可能な限りの収集、および台湾の調査協力団体（個人）と連絡を取りながらライフヒストリーの聞き取りのための質問項目を決めることを主に進めた。</p> <p>*収集した文献資料から得た知見と、台湾の調査協力団体（個人）の紹介については、別紙を参照のこと。</p>					
	合計	使用内訳（単位：円）				
交付決定額	600,000	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
支出額	21,471	0	11,953	0	9,518	0
執行残額	578,529					
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等		
	森田豊子	鹿児島大学グローバルセンター特任准教授		インタビュー対象者の選定、聞き取り、聞き取り内容の分析		
	Thang Leng Leng	シンガポール国立大学人文社会学部准教授		聞き取り内容の分析へのアドバイス		